

国土交通省 次世代住宅プロジェクト2022
令和4年度サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）

『土屋ホームトピア提案事業 採択のお知らせ』

～ 既存住宅のリフォームによる宿泊体験型IoT住宅の性能検証 ～

2022年8月5日（金）、株式会社土屋ホームトピア（所在：札幌市厚別区厚別南1丁目18番1号）は株式会社ハウディ（所在：東京都目黒上目黒2-15-6川鍋ビル3階）と共同提案していた事業が、国土交通省サステナブル建築物等先導事業として評価、採択されました。

サステナブル建築物等先導事業は、IoT技術等の活用により住宅の市場価値を高めるとともに、居住・生産環境の向上を図る取組みに対して補助が行われるプロジェクトです。

代表提案者である弊社は高性能戸建てリフォームやマンションリフォームの経験が豊富であり、共同提案者はIoTスタートアップ企業で、本提案で用いるIoTを賃貸マンションや戸建て住宅で運用している実績があることから実現性が高く、リフォームと併せて住宅のIoT化を実施する点について今後IoT住宅を普及させるうえでの効果が大きいと期待され、住宅リフォーム業界として初、北海道企業としても初の採択を受けました。その際評価頂いたポイントは下記となります。

1. 既存住宅IoT化の促進

北海道十勝管内（音更町）に建つ築50年の既存住宅を改修する際に、IoT機器類の実装やシステムの導入を行う。新築住宅と異なり、既存住宅にリフォーム工事と併せて実装することから、IoT住宅を普及させる上で効果が大きい。

2. 宿泊体験によるIoT住宅の性能検証

上記建築物を宿泊体験型IoT住宅として整備し、一般に開放する。既存住宅へ実装する際の施工上の課題の整理、利用者による使い勝手を検証することでIoT住宅の普及への貢献が見込まれる。

3. リフォームとIoT機器の連動による快眠効果への期待

近年注目される「睡眠の質の向上」に対して、汎用性の高いIoT機器の設置、「睡眠マネジメントシステム」の開発のベースとなるシステムの導入により基礎データを収集・分析する。過去、IoT機器単体での睡眠データ取得の例はあるものの、リフォームと組み合わせるケースは珍しく、先進性・創意工夫がある。

【今後の計画】

- ・2022年11月 改修工事の着工
- ・2023年 3月 竣工（報道各社への公開を予定）
- ・2023年 5月 宿泊体験型IoT住宅として運用、データ収集を開始

既存住宅の省エネ化、耐震化に加えて、IoT技術の導入によるスマート化、更なる住環境性能向上、住宅リフォームを通じてクオリティオブライフ（QOL）の向上に貢献してまいります。

本件に関するお問合せ先 〈採択事業およびシステムの詳細内容、改修計画 現地取材 等〉

株式会社土屋ホームトピア 総務部 阿部貴裕

TEL:011-896-3053 FAX:011-896-3011 E-mail : t-abe@tsuchiya-grp.com